

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2024年3月31日	評価番号	A-244	
評価技術名称					連絡先				
部分開口 構造用合板補強工法					http://www.				
大壁「1間 上下あき」薄棧あり					〒		電話		
							Fax		
概要	技術概要								
	構造用合板を使用し、横架材及び土台と面材が接合されていない補強工法。 間柱、継手受材、上下受材の奥行きを30mmの薄棧とし、床天井間のみを構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
・天井・床を解体することなく補強が可能。 ・1間の間に柱がない場合に有効。 ・一般流通品なので取り扱いが容易。						サンプル構面		17,389 円/kN	
設計見積り例						—			
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関				
機関名					名古屋工業大学				
評価番号					その他				
評価取得日									
仕様	適用範囲				写真・図				
	構法	木造在来軸組工法							
	規模	3階建て以下							
	基礎、地盤	特になし							
	適用部位	内外壁							
	その他	特になし							
	主要構成部材の仕様								
	構造用合板 厚12mm以上 横使い								
	釘 N50, CN50 @100以下								
	大壁 間柱、継手受材、上下受材あり								
耐震性能									
評価仕様: 大壁直貼仕様									
壁基準耐力		壁基準剛性							
3.64kN/m		511kN/rad./m							
A-111からの低減係数 $\alpha = 0.7$									
壁基準耐力 $5.2 \times 0.7 = 3.64$									
設計方法				大壁 薄棧あり					
①柱接合部による低減				構造用合板 厚12mm以上					
取付部分が健全であること				釘 N50, CN50 @100mm以下					
②劣化による低減				四周打ち					
取付部分が健全であること				間柱 30×40mm以上					
施工者指定				継手受材に対して負け					
特になし				継手受材 30×90mm以上					
その他				釘 柱に対し 2-N75 斜め打ち					
				上下受材 30×90mm以上					
				釘 柱に対し 2-N75 斜め打ち					